

# 火山の総合観測点を更新強化し、情報発表の継続性を確保する（北海道川上郡弟子屈町等）

事業者：気象庁



※地理院地図をもとに気象庁作成



対策後

停電対策を強化した電源装置

総合観測装置（北海道弟子屈町）  
火山名：アトサヌプリ 川湯観測点

## 対策名：119 火山噴火に対する防災気象情報の高度化対策

主たる施策グループ：1-6) 火山噴火や火山噴出物の流出等による多数の死者数の発生



## 事業名：火山総合観測点の更新強化

- ポイント**
- 老朽化した火山観測施設のうち、総合観測点の停電対策を強化
  - 災害による停電時においても、噴火に関する情報発表を継続し、火山周辺住民や登山者等の安全を確保

### 地域の概要・課題

災害時には交通網の途絶等により、障害発生時に現地に到達することが困難な場合があります。

このため、バッテリーからの給電への自動での切り替え、リモートでの各機器の稼働状態の確認、機器の再起動の実施等を行うことで、観測の継続性を向上させる必要がありました。

### 事業の概要

火山観測施設のうち、アトサヌプリ、秋田駒ヶ岳（秋田県仙北市）、草津白根山（群馬県吾妻郡草津町）の総合観測点の観測施設について、各機器の稼働状態をリモートで確認できるようにするなど、更新強化を実施しました（令和3年度）。

### 見込まれる効果

災害等による停電時に、自動的にバッテリーからの給電に切り替え観測を継続するとともに、仮に停電が長期化した場合にも、各機器の稼働状態をリモートで確認することにより、非常用電源の枯渇状況等を把握し、適時にバッテリーを交換することにより観測を継続し、噴火に関する情報発表を継続することができると見込まれます。

### 火山観測施設の機能強化



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
(1) 人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
(1) デジタル強靱化に関する施策の

(2) 伝達の高高度化  
防災気象情報の高度化